

リポター

健康の大切さを実感

自分自身のこととして



介護保険の寸劇を作り上演しました
(右が小畑リポター)

団体としての活動

―介護について寸劇を上演―

最近、私たちは介護保険、ホームヘルパー、ボランティアなどといった言葉をよく耳にするようになりました。やがてだれもが通る道、私たち一人ひとりに今、何ができるのか、どんな役割があるのか、私の所属するJAあきた北女性部で考えてみました。その第一歩として、介護保険制度の内容を簡単に分かりやすく解説した「寸劇」を作り、女性部大館総合支部の集いで上演してみました。

この集いは、この日参加した四百人の部員にとって介護保険制度についてのすばらしい勉強会になりました。同時に、今後に向けて互いに支え合う地域づくりのための部員相互の勉強会にもなり、大変大きな反響がありました。

また、女性部ではホームヘルパーと合同で高齢者支援グループも発足させました。今後は、先進地視察などを実施し、いろいろな勉強しながら活動の充実を図ってきたいと考えています。

個人としての活動

―自分の考えていること―
私ももうすぐ六十代になろうと

しています。他人ごとではなく、自分自身のこととして、これから直面する高齢化社会に対し、どのように向き合い、対応していったらいいのか本気で考えなければならぬと思っています。現在のところは時間的にも、精神的にも余裕がないので、とりあえず、どのような形で地域や社会にお手伝いできるのかを模索してみたいと思い「ホームヘルパー三級課程」の講習会を受講してみました。何十年ぶりかで味わう講義による拘束は大変苦痛なものでした。しかし、講師の先生がたは、机上の講義のみならず、多岐に渡って現場も実践しているかたがたばかりで、その内容は分かりやすく、とても興味深く聞くことができました。



介護について本気で考えようと「ホームヘルパー3級課程」の講習会を受講

デイサービスセンターの見学では、朝の送迎から始まり、健康チェック、レクリエーション、昼食、入浴と次々に日課をこなされる職員のかたちたちを見て、はじめて経験する私は、ただただ、感心するばかりでした。また、ホームヘルパーのかたと同行して、家庭訪問もしました。私が同行したところは全体から見るとごく一部な

最後に

今回、介護についていろいろな経験や調べものをしました。これらを通して、何をすることも、まず自分自身が健康であることが一番大切であると感じました。健康であつてこそ、他人に奉仕できる。それは、家庭にあつても、夫婦間にあつても同じことであると感じ、改めて、健康の大切さを実感させられた次第です。